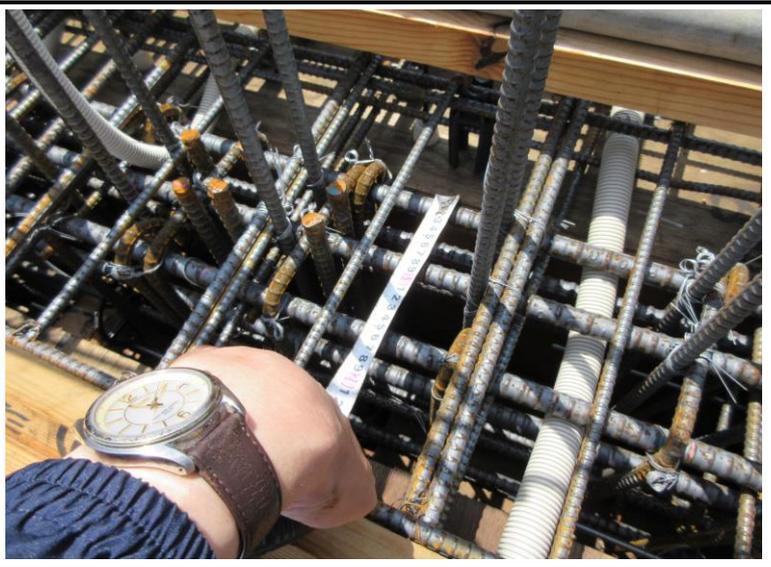


現況検査により認められる状況の記録

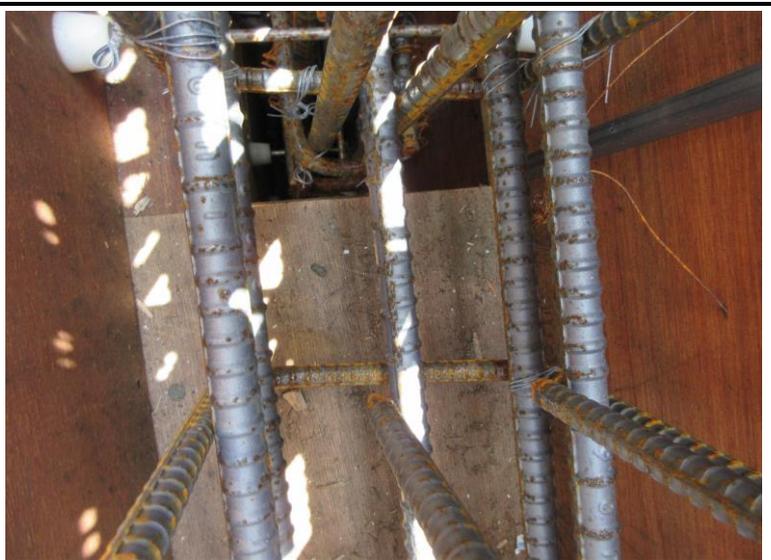
令和5年5月17日	
NO	61
場所	AY 2 通り
部位	2階床梁 (G 3)
計画通りの配筋組であることを確認。 (上下主筋 : 3/2 - D19)	



令和5年5月17日	
NO	62
場所	AY 2 通り
部位	2階床梁 (G 3)
同上。	



令和5年5月17日	
NO	63
場所	AY 2 通り
部位	2階床梁 (G 3)
同上。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月17日	
NO	64
場所	AY 2 通り
部位	2階床梁 (G 3)
計画通りの配筋組であることを確認。 (せん断補強筋：D13@150mm)	



令和5年5月17日	
NO	65
場所	AY 2 通り
部位	2階床梁 (G 3 A)
計画通りの配筋組であることを確認。 (上下主筋：3/2 - D19)	



令和5年5月17日	
NO	66
場所	AY 2 通り
部位	2階床梁 (G 3 A)
計画通りの配筋組であることを確認。 (せん断補強筋：D13@100mm)	

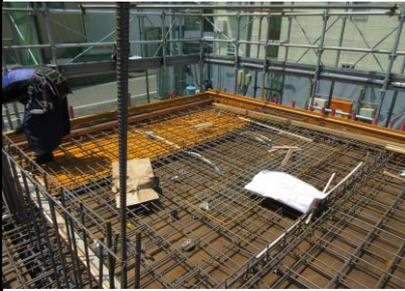


現況検査により認められる状況の記録

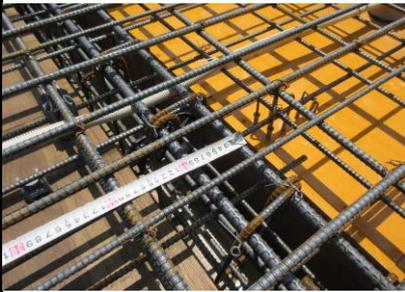
令和5年5月17日	
NO	67
場所	AY 2 通り
部位	2階床梁 (G 3 A)
隣り合う鉄筋の圧接 (継手) 部分の離隔距離 ( $a \geq 400\text{mm}$ 以上) が確保されていることを確認。	



令和5年5月17日	
NO	68
場所	AY 1.5 通り
部位	2階床小梁 (B 1)
AY 1.5 通りの2階床小梁 (B 1) の配筋組状況。	

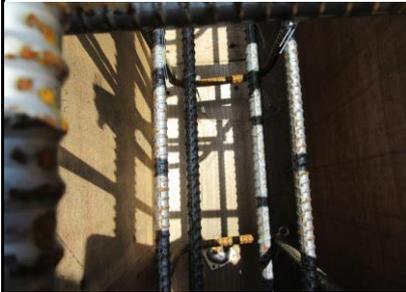


令和5年5月17日	
NO	69
場所	AY 1.5 通り
部位	2階床小梁 (B 1)
計画通りの配筋組であることを確認。 (上下主筋 : 2 - D16)	

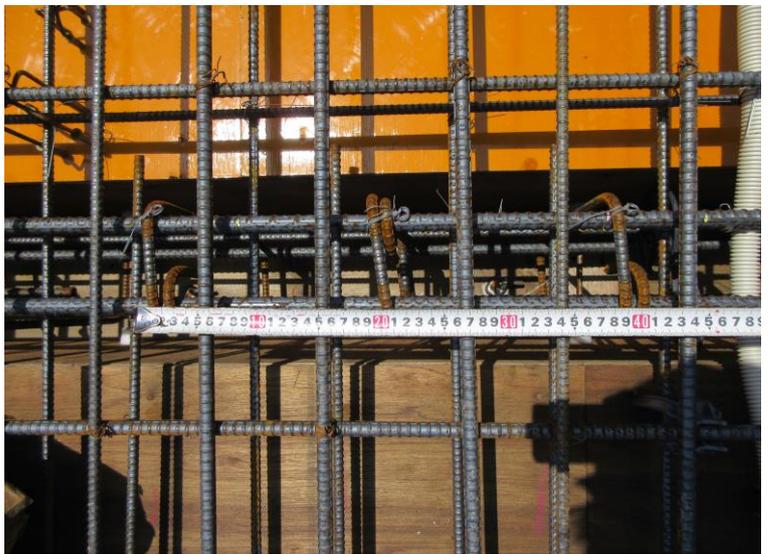


現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月17日	
NO	70
場所	AY1.5通り
部位	2階床小梁 (B1)
同上。	




令和5年5月17日	
NO	71
場所	AY1.5通り
部位	2階床小梁 (B1)
計画通りの配筋組であることを確認。 (せん断補強筋：D10@200mm)	

令和5年5月17日	
NO	72
場所	AY1.5通り
部位	2階床小梁 (B1)
梁成が計画通り (450mm) に確保されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月17日	
NO	73
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)
AB棟 (A棟) の床スラブ (S3) の配筋組状況。	




令和5年5月17日	
NO	74
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	




令和5年5月17日	
NO	75
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月17日	
NO	76
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	



令和5年5月17日	
NO	77
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	



令和5年5月17日	
NO	78
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)
スラブ上下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上)、及び、鉄筋間の空き (25mm以上) が確保されるようスペーサーが設置されていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

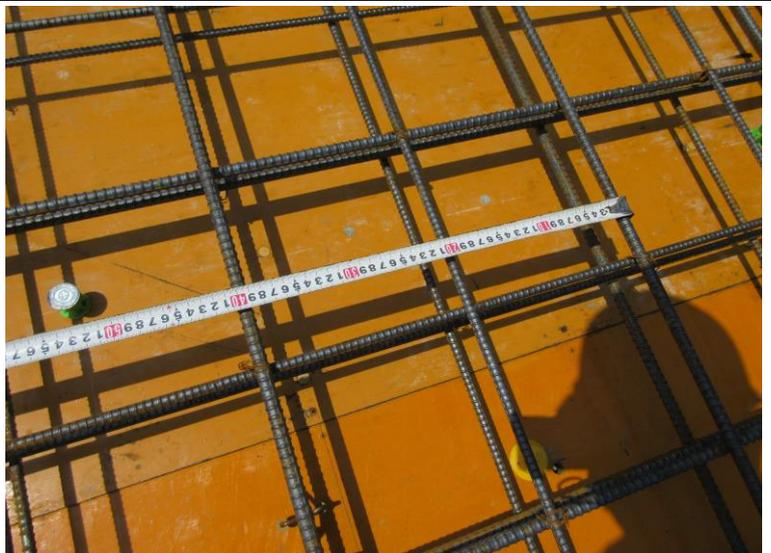
令和5年5月17日	
NO	79
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)
スラブ上端筋の梁上部の直線定着長さ (L2 : D13×35=455mm以上) が確保されていることを確認。	



令和5年5月17日	
NO	80
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。D10・D13@200mmチドリ (縦横共：ダブル)	



令和5年5月17日	
NO	81
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	

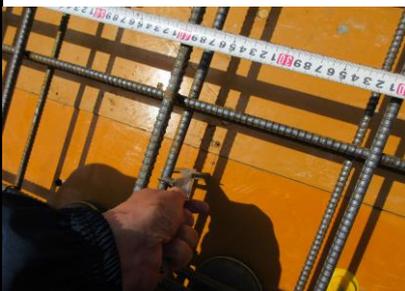


現況検査により認められる状況の記録

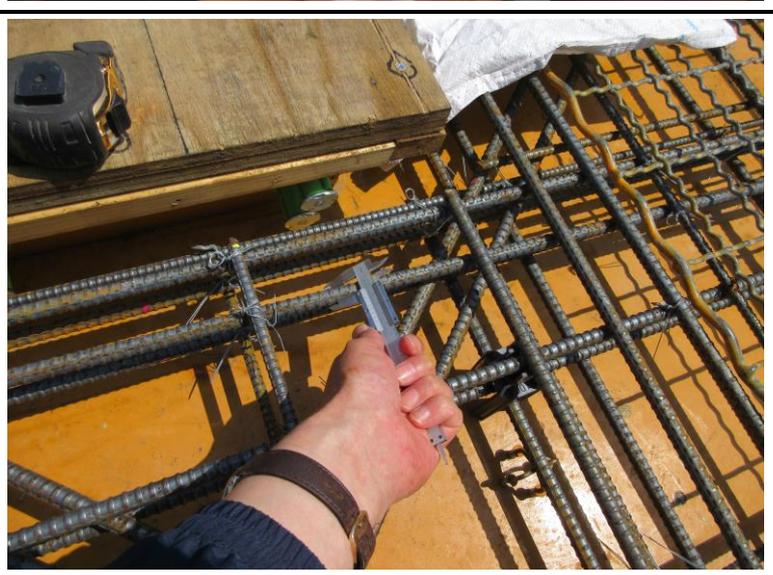
令和5年5月17日	
NO	82
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	




令和5年5月17日	
NO	83
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	

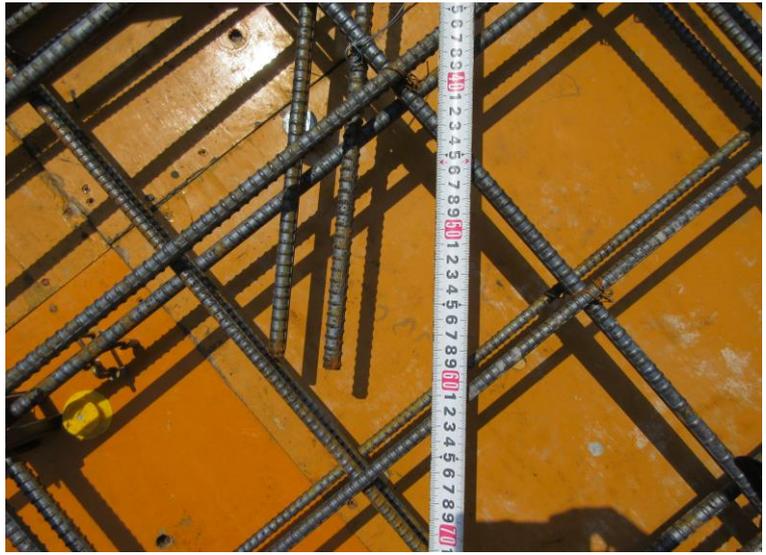



令和5年5月17日	
NO	84
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
ダマ穴開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。(開口廻りの縦横: 上筋2-D13、下筋2-D13)	

現況検査により認められる状況の記録

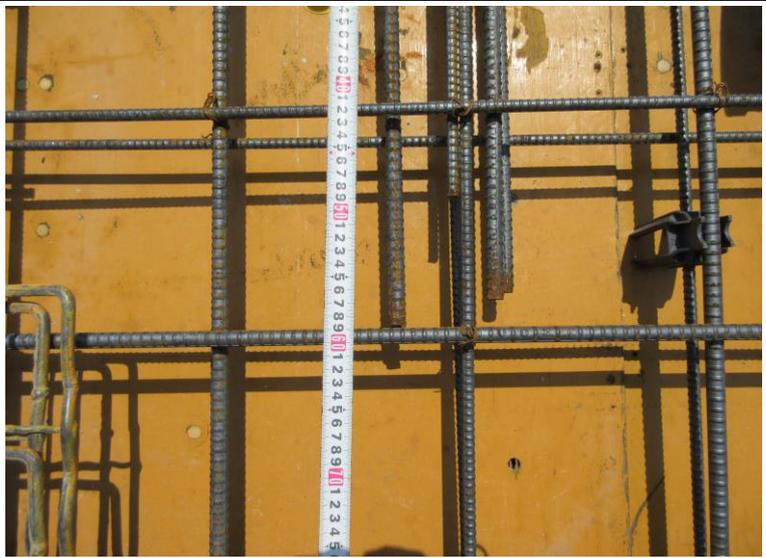
令和5年5月17日	
NO	85
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。(開口廻りの斜筋:上筋1-D13、下筋1-D13) また、余長部の定着長さ (L1: D13×40 d =520mm) が確保されていることを確認。	
	



令和5年5月17日	
NO	86
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
床スラブ貫通部のスリーブ廻りには、鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されていることを確認。	
	

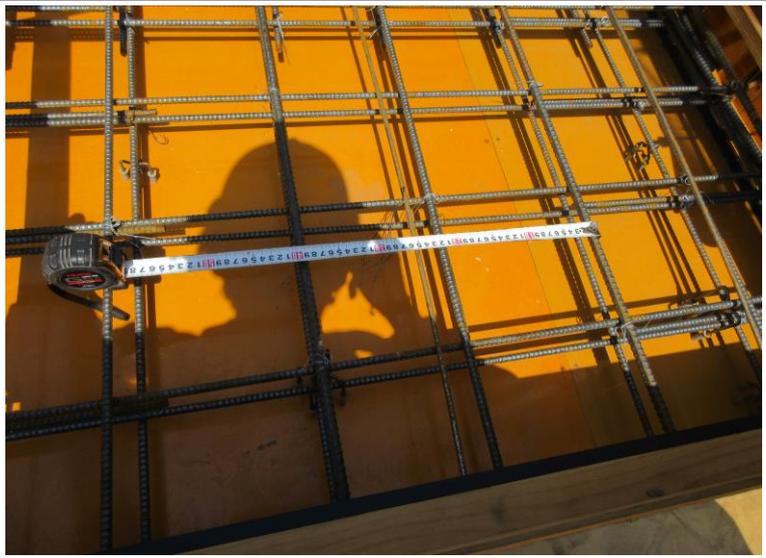


令和5年5月17日	
NO	87
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
補強筋が計画通りに設置されていることを確認。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月17日	
NO	88
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋: 短辺方向) D10・D13@200mmチドリ	



令和5年5月17日	
NO	89
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
同上。	



令和5年5月17日	
NO	90
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (配力筋: 長辺方向) D10@200mm	

